

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/25		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587011303	科目番号 / Course code	05870113
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12731_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動d (企業行動と戦略) / Organizational Decision Making and Strategy		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	岡田 裕正 / Hiromasa Okada, 赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	岡田 裕正 / Hiromasa Okada		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育B棟34 / RoomB-34		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	h-okada nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部東南アジア研究所3階307室		
担当教員TEL/Tel	経済学部研究室 内線 6-352		
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義終了後。事前に質問事項を決めている場合には、上記メールアドレスに、件名に「質問、学生 番号、氏名」を書いて、送ってほしい。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業のみならず組織の経営や行動の前提には戦略があるが、戦略決定のためには投資意思決定や業 績評価があり、またその戦略を具体化するものとして利益計画がある。利益は、病院等の非営利組 織と言われるところでも、継続的な経営のためには、不可欠なものであることに注意してほしい。 本科目では、意思決定から利益計画までの全体像や、例題を用いた意思決定や業績評価の基礎につ いて講義をする。なお、具体的な事例として、長崎市立病院機構の協力を得た学習を2コマほど予定 している(COC+対応)。下記授業計画では、9回目と10回目に記載しているが、これは暫定的なも の、講義開始時点では変更されている可能性があるので、注意すること。病院を例にするからと言 って、医学部や歯学部の人だけを対象とした講義と誤解しないようにしてほしい。		
授業到達目標/Course goals	意思決定から利益計画までの全体的な流れを説明できる (?Q、?C) 基礎的な意思決定や業績評価の問題 (例: 損益分岐点、在庫管理、製品組合せ、Make or Buy (自製 か外注か)、特別注文、製品の存続か廃止か等)に必要な情報 (データ)を知り、それに基づいて 課題を解くことができる (?Q、?A) 病院を例にした課題に対して、主体的に取り組み、相手の意見を傾聴するとともに、自らの意見を 論理的に説明 (プレゼン) することができる (?C、?E、?I)		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	知識の理解を確認するための期末試験 (60点)+課題に対する取組み (プレゼンテーションを含む) (20点)+予習や復習 (20点) = 100点のうち60点以上を合格とする		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の講義で利用した資料はLACSに掲載するので、これに基づいて、復習をすること 毎回の講義の最後には、次回の講義までに予習することを指示する		
キーワード/Keywords	利益計画と予算、戦略とビジョン、損益分岐点分析 (固定費・変動費)、在庫モデル (最適発注量)、製品組合せ、業績評価、長崎県 等		
教科書・教材・参考書/Materials	特に指定しないが、あらかじめ (または事後に) 必要な資料をLACSに掲示する。		

受講要件（履修条件）/Prerequisites	特になし。授業の位置づけのところで記載しているように、病院経営を例として取り上げるが、医学や歯学の人だけを対象とするものではないし、その知識を前提にもしない。あくまでも「経営」を考える素材として取り上げているだけなので、他学部の方は、ぜひ、自分の立場で自由に考えてほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@m1.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	電卓を使うことがある
学生へのメッセージ/Message for students	この講義は、管理会計といわれる領域の基礎を対象としているので、数字を扱うことがある。日時は未定だが、長崎市病院機構の協力を得て、2回ほど、「みなとメディカルセンター」の理念や経営計画に基づき、「魅力的なみなとメディカルセンターとは（仮）」というテーマで、グループワークとその成果の発表をしてもらうので、この回は、無断欠席しないようにすること。
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	松田 一之/長崎みなとメディカルセンター事務部長の実務経験を有している。/長崎みなとメディカルセンター事務部長の実務経験を活かし、非営利組織（地方独立行政法人）の具体例として病院の経営（医療中心ではなく、理念、中期計画、年度計画の立て方や戦略及びその達成の取組み）の取組みを講義する。/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	管理会計の概要（経営活動の流れ、会計とは、財務会計との相違、意思決定会計と業績評価会計、営利組織と非営利組織等）
第2回	異なる目的に異なる原価
第3回	利益計画（利益を増やす（損失を減らす）にはどうしたらよいか）
第4回	目標利益と損益分岐点分析（CVP分析）
第5回	原価管理と予算（1）
第6回	原価管理と予算（2）
第7回	簡単な経営分析
第8回	みなとメディカルセンターの現状
第9回	みなとメディカルセンターの経営を考える（1）「みなとメディカルセンター」の理念、経営計画（中期計画）の説明、質疑、テーマ「魅力的なみなとメディカルセンターとは（仮）」に関するキーワード（思ったこと）等
第10回	みなとメディカルセンターの経営を考える（2）キーワードに基づくグループ討論と成果の発表、講評
第11回	意思決定と業績評価（1）
第12回	意思決定と業績評価（2）
第13回	設備投資意思決定
第14回	監査と内部統制
第15回	講義のまとめ
第16回	定期試験（50分または60分）

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/10		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587011703	科目番号 / Course code	05870117
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12741_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動d (社会制度と経済活動) / Social System and Economic Activity		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	選択科目: テーマ名: 現代経済と企業活動 カテゴリー名: 多様性と共生 対象学生: 多文化社会学部、教育学部、薬学部、水産学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akaishi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部本館6階632番研究室		
担当教員TEL/Tel	(EXT.)6330		
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00-13:00		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	<p>RESAS (地域経済分析システム) のビッグデータを利用して地域の課題をグループ (3-5人) 別に分析し、その解決策を考えていく。</p> <p>RESASから見える地域の現在と将来の課題 (RESASの説明)</p> <p>人口マップによる課題の分析 観光マップによる課題の分析 農業マップによる課題の分析 産業マップによる課題の分析 消費と自治体比較マップによる課題の分析 地域経済循環マップによる課題の分析</p> <p>以上の作業を通して各グループが選択した地域の課題を分析し、レポートにまとめる。 (RESASを具体的に体験したい方は、次のURLで体験してみてください (RESAS : https://resas.go.jp))。</p>		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> RESASデータに基づき地域の現状・将来の課題を分析し、その分析から抽出される課題の解決に向けた対応策を提案できるようになる。 自分の考えを正確に相手に伝え、相手の考えを尊重しながら議論をしていくことで、より優れた提言を見出すことができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	'講義中の個人での考察およびグループワーク (40%) ならびに毎回の講義で提出をお願いするレポート (60%) により総合的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	RESAS操作法を事前に体験する		
キーワード/Keywords	地方創生、ビッグデータ、地域経済分析		

教科書・教材・参考書/Materials	テキストは特に指定しないが、毎週必ずPCを持参すること。なお、参考書、参考資料等は講義中に適宜指示する。
受講要件(履修条件)/Prerequisites	科目内容に関心がある学生であれば、とくに要件は課さない。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(URL)/Remarks (URL)	RESAS : https://resas.go.jp
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか(Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用)/Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週	RESASから見える地域の現在と将来の課題 (RESASの説明)
第2週	人口マップの統計データによる課題の分析
第3週	観光マップの統計データによる課題の分析
第4週	農業マップの統計データによる課題の分析
第5週	産業マップの統計データによる課題の分析
第6週	消費と自治体比較マップの統計データによる課題の分析
第7週	地域経済循環マップの統計データによる課題の分析
第8週	最終レポート報告

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/04		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587012103	科目番号 / Course code	05870121
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12751_005		
授業科目名 / Course title	現代経済と企業活動d (経営情報と会計情報) / Management and Accounting Information		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林川 万理水 / Hayashikawa Marina, 赤石 孝次 / Akaishi Takatugu		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	林川 万理水 / Hayashikawa Marina		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	全学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hmiyuki nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	経済学部 (方淵キャンパス) 本館610号室		
担当教員TEL/Tel	095-820-6386		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日17:50-19:00 (メールもしくは講義前後に要予約)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	企業は外部に向けて経営状況を報告する義務を負うが、一連の企業レポートがどのように行われ、投資家がそれをどのように活用して経済的意思決定に組み込むのかを行動実験を基にした学説を通じて学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	変化し続ける社会環境において、最適解を見つける社会科学の特徴と意義を理解し、企業開示問題を題材としながら問題解決する能力を涵養することを目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	講義中のグループワーク (30%)、期末レポート (60%)、その他 (10%) による評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	教科書理解の部分は予習復習。		
キーワード/Keywords	財務諸表、企業報告、任意開示、戦略マネジメント、投資意思決定		
教科書・教材・参考書/Materials	内藤文雄 『会計学エッセンス第2版』中央経済社、2015年。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	自ら考え動く主体的単度を要する。また、講義内容の理解は、初回からの知識の蓄積により達成されるものであり、グループワーク実施にも一定の共有知識が必要である。そのため毎回出席して理解を高める必要がある。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)	講義のグループワークを始める前に、コーチングとファシリテーションの作法を少し話します。初めての方には、新鮮な体験ワークとなります。学び方の学びです。傾聴技法 (active listening)、他者感知、質問技法、つまり「聴く」「感じる」「伝える」の一連主体的反応の訓練を通して、学友との刺激の中で自らの解を練り上げる訓練をします。		
学生へのメッセージ/Message for students			

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	イントロダクション 会計とは何か 財務報告と監査の役割
第2回	社会科学としての会計学(1) シャムサンダー氏講演録「想像の中の会計という世界」の読解と問題提起の理解
第3回	社会科学としての会計学(2) 功利主義哲学と社会科学の関係?マイケルサンデルの問題提起を参考に
第4回	社会科学としての会計学(3) コストベネフィット分析と会計諸問題
第5回	財務報告の国際的動向(1) 財務報告の目的変遷?会計説明責任と投資意思決定支援
第6回	財務報告の国際的動向(2) IFRSの組織変遷とアドプション問題の概要
第7回	会計監査の諸問題(1) 厳格監査と馴合監査 ストーリーを使っでの問題理解と解決のためのワーク?
第8回	会計監査の諸問題(2) 銀行と監査 ストーリーを使っでの問題理解と解決のためのワーク
第9回	会計監査の諸問題(3) ベンチャー企業と監査 ストーリーを使っでの問題理解と解決のためのワーク
第10回	投資意思決定上の諸問題(1) 財務情報と非財務情報 グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第11回	投資意思決定上の諸問題(2) 強制開示と任意開示 ?グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第12回	投資意思決定上の諸問題(3) 投資家との新たなコミュニケーションツールの創造 グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第13回	任意開示意思決定上の諸問題(1) プロプライエタリーコストと開示意思決定 グループワークを通じての経営戦略意思決定の体験?
第14回	任意開示意思決定上の諸問題(2) 評判マネジメントと開示意思決定 グループワークを通じての経営意思決定の体験?
第15回	任意開示意思決定上の諸問題(3) 財務トレンドと任意開示量の関係 グループワークを通じての経営意思決定の体験?
第16回	定期試験